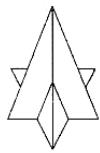


♪ドキドキ わくわく♪



チーム旭★

京都市立旭丘中学校
学校だより第6号・祝 卒業号
校長：谷川 玲子
令和7(2025)年3月13日

※ ルビ打ち(ふりがな入り)版ございますので、
希望される場合は、ご連絡下さい。

卒業おめでとう！3年生のみなさん！



一昨日に行った「3年生を送る会」。今年度、全校生徒が集まる最後の機会でもありました。秋頃から生徒会を中心に、各学年や部活動でも取り組んでくれ、合唱や工夫を凝らした出し物、映像など、限られた時間の中で、よくこれだけの発表ができたと感激しました。3年生への感謝の思いがあふれる1・2年生の姿、それをしっかりと受け止め、応えてくれた3年生の姿、どちらも素晴らしい、旭中生の心がひとつになった思い出に残る時間となりました。ありがとう！！

そして、いよいよ明日は卒業式。1・2年生は代表生徒しか式に参列してもらえないのが少しさびしいですが、きっと素晴らしい立派な態度で、中学校生活を締めくくり、旭丘中を旅立ってってくれることと思います。そんな3年生に、各学年の主任の先生と教頭先生から、教職員を代表して、メッセージをいただきました。



人生の宝物

3年学年主任 奥村 直也

掲示物が全て剥がされて片づけられた教室、誰もいない静かな廊下、卒業式に向けて繰返しられる式の練習、そして最後の合唱……あー、みんなとの中学校生活が終わっていくんだなーとつくづく感じます。3年生の卒業前ほど楽しさと嬉しさと悲しさとそして微笑ましさや寂しさが入り混じった瞬間って…なんとも言い表せません。

もう何年も前になるのですが、自分の当時を振り返ってみると…、朝いつもは全く目が覚めず、遅刻をしそうになっているのが当たり前なのに、近くの真如堂の鐘に起こされ早起きの1週間、「俺の父ちゃん、PTAの会長やし、卒業式で喋りよんね」と、恥ずかしげに不安そうに話しかけてきた友人、案の定父ちゃんは空白の1分間、卒業式当日校長先生が「そこのピンライトまぶいねん！消してくれ！」と、壇上から大きな声で叫んでいた姿、卒業式での証書どうやってもらったかなー、家の人たちみな正装。友達、家人達、先生達、ほとんどの人たちが泣き笑いの顔やったと思う。

思い出すときりがない…。

日常の些細な事、友達と交わした言葉、昼休みや放課後、部活動、3年間の授業や行事、自分の進むべき道を真剣に考えた進路、すべての思い出と多くの人の繋がり、そして何よりもいつも傍で寄り添いながら見守ってくれていた家族、本当に本当にすべて……自分の宝物。

これから先の未来は、無限大に広がっていると思います。決して自分の限界を作らずに可能性を信じて、自分の歩んでいる道が正解なんだ信じ、様々なことにチャレンジしてください。素晴らしい未来を応援しています。

卒業おめでとうございます。



3年生のみなさんへ

2年学年主任 中原 大輔

もうこの日が来てしまったのか。と言うのが今の正直な気持ちです。毎年この時期を迎えて卒業生を送り出すのですが、いつもあつという間だったな、早かったな、と思いながら中学校生活の3年間の短さをそのたびに感じさせられます。みんなのこれから先に続く長い人生の内のたった3年間、でももう2度とは戻らない誰にとっても一度きりの3年間です。みんなにとってこの旭丘中学校での3年間はどんな時間でしたか？楽しい日々でしたか？辛い日々でしたか？きっとそのどちらもあったのではないかでしょうか。友達との楽しい日もあれば、悩んだり苦しんだりした日もあったのではないかでしょうか。でもそのどちらもあることが、実は大切なことなのです。明るくて楽しい真っ白な日と、暗くて苦しい真っ黒な日の両方があってこそ、一人一人の人生に陰影がつくのです。絵に陰影をつけると立体感があらわれます。仲間と楽しく過ごした日、しんどいことや苦しいことから逃げずに戦った日、その両方が陰影のグラデーションを幅広く豊かにし、みんなの生きる力を鍛えてくれたはずです。その力をしっかりと身につけることのできた人は、これから的人生でうわべだけの薄っぺらなままの生き方ではなく、しっかりと厚みや奥行きの感じられる中身の詰まった生き方ができるはずです。中学生時代にそんなにしっかりと頑張れなかつたという人も大丈夫です。なぜならあなたの絵はまだ完成していないのです、これからも陰影を描き加え、そしてたくさんの色を塗り重ねていけるはずです。

4月から始まる新しい生活で、あなたは自分という作品にどんな色を加えていきますか？みんなのからの人生がさらに豊かになることを願っています。3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

贈る言葉

1年学年主任 井上 千尋

『風向きは 体の向きを変えれば 変わる』

文字にして読めば当たり前のことなのですが、この言葉を、私はこう解釈しています。今吹いている風は、追い風なのか、向かい風なのか…それは、自分がどんな風を必要としているかで、変えられるものなのかもしれません。

追い風は背中を押してくれるし、向かい風は揚力を生み、上に向かう力をくれる。この先もきっといろいろなことがある人生…ですが、自分の考え方や動き方次第で、自分のまわりの状況は変えられるのかもしれません。柔軟な心と行動で、いろいろな経験を重ねてたくましく成長していってください。ただし、どうしてもどうにもならないときは『Go with the Flow』で。立派な人にならなくても大丈夫。そのかわり、人のことを思いやれる、そして自分のことを大切にできる優しい人になってください。

ご卒業おめでとうございます。これからも、どうかお元気で。

人間万事塞翁が馬

教頭 小西 信行

3年生のみなさん、いよいよ卒業ですね。9年間の義務教育を終え、自分で選んだ進路に向けて出発です。これまでにもいろいろなことがあったと思いますが、これからも様々な出会いがあることでしょう。そこでタイトルのお話です。

昔中国に住んでいた老人(塞翁)の馬が逃げてしまいました。近所の人々は残念に思いましたが、老人は、これは幸運の訪れかもしれない、と言いました。実際その馬は数日後に素晴らしい馬を連れて帰ってきました。近所の人々は祝福しましたが…と続きます。何が幸運で何が不幸かはわからないというお話です。

みなさんの人生の主人公はみなさん自身です。生きて歩み続けるとたくさんの出来事があることでしょう。時にマイナス方向に感情が動くかもしれません、長い目で見ればそれほど大きな出来事ではない場合がほとんどです。自分で選んだ道を信じ、実りある人生を築いていくことを祈って、お祝いのメッセージとします。

ご卒業おめでとうございます。





令和6年度 旭丘中学校 第77回 卒業証書授与式

令和7年3月14日(金)午前9時30分開式 本校体育館にて

3年生保護者の方は、午前9時20分までに、体育館内にご着席下さい。

*上履きは不要です。(フロアにシートを敷いております)

*換気等のため、冷え込むことが予想されます。温かくしてお越しください。

*お車での来校は、ご遠慮下さい。(自転車・バイクは指定の場所に ご駐輪下さい。)

★ 卒業生 … 8:45 自教室集合

★ 式に参列する在校生 … 9:00 2年2組 教室集合

(1組生徒は、1組教室)

※式に参列しない在校生は、「家庭学習」となります。



いよいよ明日は、卒業式本番ですね。

小学校4年生の終わりから中学1年生までコロナ禍に見舞われ、特に上級生としての小学校生活では、多くの制限を受けてきたみなさん。他人との距離を置いた生活からか、入学した頃はうまく人間関係を作れず、戸惑っていた人もいましたね。また、部活動でも「これまで当たり前にできていたことが、なかなかできにくい」と顧問の先生が悩んでいた場面もありました。

そんなみなさんが、徐々に「当たり前」のレベルを上げ、体育祭ではリーダーとして下級生を引っ張り、合唱コンクールでは誰もが感動する圧巻の歌声を聞かせてくれ、1・2年生にとっての憧れの先輩へと立派に成長を遂げてくれました。人は、3年間で、こんなにも成長するのかと、感動さえ覚えています。素敵な時間を本当にありがとうございます！

卒業式もコロナのために在校生が参列できなかったり、代表生徒のみが証書を受け取った年もありました。明日の卒業式では、これまで頑張ってきた3年生のみなさん一人一人に、心から感謝と祝福の思いを込め、卒業証書を手渡したいと思います。みなさんも、これまで見守り育てて下さったお家の方への感謝の気持ちを、保護者席までしっかり届く「返事」と「歌声」、そして立派な態度で伝えて欲しいと思います。みなさんが立派に輝きを放ち、巣立ち行くカッコイイ姿を見せてくれることを教職員一同、心から楽しみにしています。

最後になりましたが、お子達が入学してから3年間で立派に成長され、無事この日を迎えることができ、感無量です。何かと至らぬ点もあったかとは存じますが、保護者の皆様には3年間、いつも温かくご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。お忙しい中とは存じますが、明日はぜひ、お子達の晴れ姿をご覧いただきたく、ご来校をお待ちしております。

令和7年3月13日
校長 谷川 玲子